



## 参考資料

### VMware vCloud™ Director : ハイブリッド クラウド間で インフラ サービスの提供と利用を行うための新しいモデル 企業とサービス プロバイダのための安全性に優れたハイブリッドクラウドの構築を支援

#### 概要

VMware vCloud™ Director は、企業やサービス プロバイダの安全性に優れたハイブリッドクラウドの構築、運用を実現します。

[“IT-as-a-Service “ \(サービスとしての IT\)](#) を達成するには、IT とビジネスの関係を再定義する必要があります。企業は、IT の効率性の向上とセキュリティの強化を行いながら、ビジネスの俊敏性向上を促進するために、VMware vCloud Director を活用して、ユーザによる IT サービスの利用方法に変革をもたらします。VMware vCloud Director は、企業がサービスの標準化、プロビジョニングの自動化、従量課金方式によるセルフ サービス アクセスの提供ができるよう支援します。

VMware vSphere™ 上に構築されたVMware vCloud Directorは、IT組織がそれぞれのサポートするお客様に対して、本当の意味でのサービスプロバイダの役割を果たせるようサポートする、包括的で、唯一無二のソリューションを提供します。企業は、既存の環境を活用して、既存のアプリケーションと互換性があり、弾力性と安全性に優れたマルチテナントクラウドの構築が可能です。VMware vCloud Director は、管理およびサービス デスク ソリューションを統合することで、お客様がクラウド コンピューティングへ最低限のシステム停止で移行できるようサポートします。お客様は、[VMwareのテクノロジーパートナー、サービス プロバイダによって構成されている当社のパートナー ネットワーク](#)のサポートを通じて、安全性に優れ、互換性を有するパブリッククラウドを追加することで、各々のデータセンターの容量を拡張させ、これをプライベートクラウドのように簡単に管理することが出来ます。

#### VMware vCloud Director 機能およびメリット

VMware vCloud Director は、IT 部門によるインフラ サービスの構築および管理方法と、ユーザによるこれらのサービスの使用方法に変革をもたらします。お客様は VMware vCloud Director を使用することで、次のことが可能になります。

- **標準化された 仮想データセンターの構築** : VMware vCloud Director は、コンピューティング、ストレージ、およびネットワーク機能を仮想データセンターにプールすることにより、リソース管理とプロビジョニングを大幅に簡素化します。仮想データセンターでは、管理者がインフラの階層を作成することができるため、階層ごとに異なるサービス レベルとコスト（標準やゴールドなど）でインフラをユーザに提供することができます。VMware vCloud Director では、同一のインフラを使い、必要に応じて使用可能なプールから、あらかじめ予約可能なプールまでといった柔軟なリソース割り当てができるモデルを採用しています。これらのリソース割り当てモデルに対する課金は、VMware vCenter™ Chargeback によって完全にサポートされています。
- **インフラのサービス カタログを使用したセルフ サービス アクセスの提供** : VMware vCloud Director では、サービス カタログが提供されるので、ユーザは Web ベースのポータルから構成済みのインフラとアプリケーションを選択して展開できます。

- **安全性に優れたマルチテナントクラウドの構築**：VMware vCloud Director では、管理者が事業分野、部門、子会社などに分類したポリシーに基づいてユーザをグループ化できます。各グループは、分離された仮想リソース、独立した LDAP 認証、固有のポリシー制御、および独自のカタログを使用します。VMware vCloud Director では、複数の組織がインフラリソースを共有するクラウド環境においてセキュリティとコンプライアンスを確保するために、[VMware vShield™](#) による境界保護、ポートレベルのファイアウォール、NAT および DHCP サービスを用意しています。
- **社内外のインフラリソースの活用**：VMware vCloud Director では、REST ベースのオープンな API である vCloud API を幅広く実装しています。この API は Open Virtualization Format (OVF) を使用してワークロードをクラウド間で移動させながら、場所を問わず一貫したインターフェイスで、それらのアプリケーションのプロビジョニングおよび管理を行うことができます。お客様は、VMware vCloud Director に基づいてクラウドサービスを提供する幅広いサービスプロバイダからなるパートナーネットワークとの協業関係を通じて、データセンターのキャパシティを互換性のあるパブリッククラウドにまで拡張することにより、セキュリティや俊敏性を損なうことなく、ハイブリッドクラウドコンピューティングモデルを採用できます。

企業は、VMware vCloud Director を利用すると、クラウドコンピューティングへの発展的な移行方法が提供されます。既存の環境を活用しつつ、クラウド間で機能を柔軟に拡張できます。

VMware vCloud Director をサービスプロバイダで利用する場合は、差別化された利益率の高いサービスの構築、および最大規模の仮想エンタープライズワークロード環境へのアクセスが可能になり、市場投入までの期間が短縮されます。

#### ■購入について

日本語環境での対応については 2011 年を予定しています。

\* US 参考資料原文、および参考資料内コメントは下記 URL よりご覧ください。

<http://www.vmware.com/files/pdf/vmworld/vmware-vcloud-director-backgrounder-en.pdf>

#### 【お問い合わせ】

ヴァイエムウェア株式会社  
マーケティング コミュニケーションズ 武田  
Japan.PR@vmware.com

株式会社ジェイスピン  
担当 清水、成田  
vmware@jspin.co.jp  
03-5269-1038